

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プラザクリエイト

コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 大橋 正信

TEL 03-3532-8826

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	14,313	△3.4	559	△32.7	532	△35.8	473	△33.4
26年3月期第3四半期	14,824	2.0	832	30.0	830	29.1	710	27.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 519百万円 (△29.3%) 26年3月期第3四半期 734百万円 (30.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	34.23	—
26年3月期第3四半期	62.00	—

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	13,627	4,118	30.2	297.65
26年3月期	11,574	3,714	32.1	268.47

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,118百万円 26年3月期 3,714百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

1. 平成26年3月期期末配当金の内訳(普通配当20円 設立25年記念配当5円)

2. 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成26年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△0.7	500	△3.2	500	△0.5	300	△2.9	21.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

第2四半期連結会計期間において、株式会社フォトネットは清算したため、連結の範囲から除外しております。

また、株式会社ブラザクリエイティブライティング、株式会社プラザハート及び株式会社Qlixは、当社と吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	13,836,258 株	26年3月期	13,836,258 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	501 株	26年3月期	501 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	13,835,757 株	26年3月期3Q	11,464,688 株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、「(3) 連結業績予想など将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは、業務の効率化を図ることを主な目的として、子会社の事業再編及びグループの組織再編を実施しました。

- (1) 平成26年4月1日付けで株式会社プラザクリエイトモバイルリング及び株式会社プラザハートは、株式会社プラザクリエイトストアーズを承継会社とする吸収分割(子会社の事業再編)
- (2) 平成26年7月1日付けで分割後の株式会社プラザクリエイトモバイルリング及び株式会社プラザハート並びに株式会社Qlixは、当社と吸収合併(グループ組織再編)
- (3) 平成26年10月1日付けで当社が営むプリントショップ(フランチャイズを含む)の本部機能とモバイル事業の一次代理店機能に関する権利義務を当社の完全子会社である株式会社プラザクリエイトストアーズを承継会社とする吸収分割(グループ組織再編)

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、プリント事業において、「フォト&モア」への取り組みや「なんでもダビングサービス」の受付体制の強化等により、直営店の既存店売上高が前年同期比100%を超えるなど、売上高は堅調に推移いたしました。

しかしながら、消費税増税後の想定以上の消費低迷と回復力の鈍化もあり、主力サービスであるプリント需要が低迷するなか、第3四半期最大の商機である年賀状プリントにおいては、総受注枚数は3,355万枚と既存店実績は、ほぼ前年並みとなりました。一方、モバイル事業においては消費税率引上げ後、駆け込み需要の反動により売上高の減少による影響がありましたが、黒字体質は定着し収益貢献を担う事業へと成長しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、143億13百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

利益面においては、「なんでもダビングサービス」関連費用に加えて、新コンセプトによる店舗展開や当社グループでのビスタプリント製品の取扱い準備に向けた店舗システム刷新等の先行費用、仕入価格の高騰による影響等もあり、営業利益5億59百万円(前年同期比32.7%減)、経常利益5億32百万円(前年同期比35.8%減)、四半期純利益4億73百万円(前年同期比33.4%減)となりました。

セグメント別では、プリント事業は、売上高79億31百万円(前年同期比1.4%減)、セグメント利益は4億36百万円(前年同期比45.0%減)となりました。

モバイル事業は、売上高62億72百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益は1億9百万円(前年同期比57.7%増)となりました。

その他の事業は、売上高1億9百万円(前年同期比68.9%減)、セグメント損益は14百万円の損失(前年同期:33百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末に比べ20億53百万円増加し、136億27百万円となりました。主な要因は、商品及び製品並びに預け金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の額は、前連結会計年度末に比べ16億49百万円増加し、95億9百万円となりました。主な要因は、短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の額は、前連結会計年度末に比べ4億3百万円増加し、41億18百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額による減少1億15百万円、四半期純利益による増加4億73百万円によるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の32.1%から30.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、前年同期に比べて利益が減少しておりますが、今後も好調な「なんでもダビングサービス」に引き続き注力し、店舗力強化によるプリント売上の回復に努めるとともに、順調に推移しているモバイル事業の業容拡大に向けて経営資源を積極的にシフトさせることで、プリント事業の収益改善及びモバイル事業の収益拡大に努めてまいります。連結業績予想につきましては、現時点において、平成26年5月9日公表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,125,725	2,401,849
受取手形及び売掛金	1,875,092	1,376,033
商品及び製品	1,185,640	1,707,359
原材料及び貯蔵品	163,900	133,563
預け金	249,130	1,097,501
その他	415,710	996,228
貸倒引当金	△357	△357
流動資産合計	6,014,842	7,712,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,252,382	2,227,442
減価償却累計額	△1,562,690	△1,534,103
建物及び構築物(純額)	689,691	693,338
機械装置及び運搬具	4,486,236	3,961,896
減価償却累計額	△4,300,475	△3,789,523
機械装置及び運搬具(純額)	185,760	172,372
土地	1,364,215	1,364,215
その他	1,612,854	1,640,705
減価償却累計額	△1,290,202	△1,113,179
その他(純額)	322,651	527,526
有形固定資産合計	2,562,319	2,757,453
無形固定資産		
その他	320,340	401,989
無形固定資産合計	320,340	401,989
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,822,857	1,862,593
その他	851,960	893,945
貸倒引当金	△13,839	△12,338
投資その他の資産合計	2,660,978	2,744,200
固定資産合計	5,543,638	5,903,644
繰延資産		
社債発行費	15,638	12,105
繰延資産合計	15,638	12,105
資産合計	11,574,118	13,627,929

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,457,338	1,352,167
短期借入金	1,644,484	2,684,189
1年内償還予定の社債	210,000	210,000
未払法人税等	23,780	17,028
賞与引当金	87,858	48,050
その他	1,169,256	1,305,756
流動負債合計	4,592,717	5,617,192
固定負債		
社債	530,000	425,000
長期借入金	2,078,217	2,620,970
退職給付に係る負債	134,806	119,758
長期預り保証金	315,443	285,525
その他	208,490	441,219
固定負債合計	3,266,957	3,892,473
負債合計	7,859,675	9,509,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,187,511	1,187,511
利益剰余金	2,396,135	2,754,472
自己株式	△99	△99
株主資本合計	3,683,547	4,041,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,895	76,379
その他の包括利益累計額合計	30,895	76,379
純資産合計	3,714,443	4,118,263
負債純資産合計	11,574,118	13,627,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	14,824,987	14,313,786
売上原価	7,972,543	7,935,363
売上総利益	6,852,443	6,378,423
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,080,106	765,945
給料手当及び賞与	1,099,447	1,094,083
賞与引当金繰入額	39,694	45,629
雑給	1,021,907	1,070,347
賃借料	914,688	927,945
その他	1,864,305	1,914,719
販売費及び一般管理費合計	6,020,149	5,818,670
営業利益	832,294	559,753
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,499	2,566
協賛金収入	6,835	16,061
その他	60,932	49,663
営業外収益合計	71,267	68,291
営業外費用		
支払利息	57,312	36,575
持分法による投資損失	—	45,801
その他	16,122	12,724
営業外費用合計	73,434	95,100
経常利益	830,127	532,944
特別利益		
固定資産売却益	19,363	18,555
投資有価証券売却益	31,500	—
特別利益合計	50,863	18,555
特別損失		
減損損失	59,759	55,939
投資有価証券評価損	2,168	—
店舗閉鎖損失	8,451	5,416
特別損失合計	70,379	61,356
税金等調整前四半期純利益	810,610	490,143
法人税、住民税及び事業税	87,210	17,151
法人税等調整額	12,575	△643
法人税等合計	99,785	16,508
少数株主損益調整前四半期純利益	710,824	473,634
四半期純利益	710,824	473,634

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	710,824	473,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,351	45,483
その他の包括利益合計	23,351	45,483
四半期包括利益	734,175	519,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	734,175	519,118
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プリント	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,044,090	6,428,952	14,473,042	351,944	14,824,987	—	14,824,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,413	—	35,413	—	35,413	△35,413	—
計	8,079,503	6,428,952	14,508,456	351,944	14,860,401	△35,413	14,824,987
セグメント利益又は損 失(△)	793,741	69,634	863,376	△33,559	829,816	311	830,127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ブライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において57,551千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プリント	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,931,347	6,272,993	14,204,340	109,446	14,313,786	—	14,313,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44,753	—	44,753	—	44,753	△44,753	—
計	7,976,100	6,272,993	14,249,094	109,446	14,358,540	△44,753	14,313,786
セグメント利益又は損 失(△)	436,424	109,804	546,228	△14,685	531,542	1,401	532,944

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において47,112千円、「モバイル事業」において5,773千円であります。